資料１－３

「環境影響評価及び事後調査に関する技術指針」の改定の概要について（計画策定段階の環境配慮関係）

今回改定は、新たに「対象事業の計画策定の経緯」に事業の実施場所、規模の複数案等を記載することで、環境配慮を促進し、住民コミュニケーションの質の向上を目指すもの。

環境配慮の実施手順

現　行

調　　査　／　事業計画素案

↓

環境配慮事項の選定又は設定

↓

方法書作成までに具体化する計画内容（事業の実施場所、規模、主要施設計画等）に関し、必要に応じて複数案を考慮するなど、具体的な環境配慮について検討し、その結果を計画に反映

↓

方法書

↓

（以下略）

【環境配慮の促進】
計画策定段階で、環境保全に適正に配慮された計画となるよう検討

改　定　案

調　　査　／　事業計画素案

↓

方法書作成までに事業の実施場所、規模を具体化する段階で、必要に応じて複数案を比較

↓

環境配慮事項の選定又は設定

↓

方法書作成までに施設計画、工事計画等を具体化する段階で、具体的な環境配慮について検討し、その結果を計画に反映

↓

方法書

↓

（以下略）

方法書等への記載内容

現　行

＜方法書のイメージ＞
（略）
２－３　対象事業の計画策定の経緯
（１）事業の必要性
・・・
（２）事業計画策定の経緯
・・・

（３）事業計画に反映した環境配慮の内容
・・・

＜技術指針改定により新たに記載＞
- ○ 事業計画策定に当たって比較した、環境への影響の回避又は低減の検討が可能である複数案の内容、環境面から見た各案の長所・短所及び特に留意すべき環境影響の内容と対応方策
- ○ 他の施策の組み合わせ等により対象事業の目的を達成できる案を検討した場合は、その案も記載
- ○ 複数案を比較しなかった又は比較できなかった場合は、その理由を記載

【住民コミュニケーションの質の向上】
住民が検討経緯を知り得るようになり、それを踏まえた意見を提出できる。

改　定　案

＜方法書のイメージ＞
（略）
２－３　対象事業の計画策定の経緯
（１）事業の必要性
・・・

（２）事業の実施場所及び規模（処理能力）選定の経緯
（ア）事業の実施場所
事業の実施場所の選定に当たり、以下の３案を比較し、環境保全に適正に配慮された事業計画となるよう検討した。

	選定案	その他検討した案	
		Ａ案	Ｂ案
複数案の内容	イメージ図	イメージ図	イメージ図
概　要	・・・	・・・	・・・
環境面からみた長所・短所	・・・	・・・	・・・
	・・・	・・・	・・・
特に配慮すべき環境影響の内容と対応方策	・・・	・・・	・・・
その他	・・・	・・・	・・・

・・・
これらを総合的に勘案した結果、選定案を採用することとした。
（イ）処理能力について
処理施設の規模については、・・・

複数案を示さない場合の記載例

（３）事業計画に反映した環境配慮の内容
・・・